

令和7年度三田市生涯学習審議会 協議テーマ(案)

1 国・県の動向

○第4期教育振興基本計画（令和5年6月16日閣議決定）・・・文科省資料別紙

- ・社会教育による「学び」を通じて人々の「つながり」や「かかわり」を作り出し、協力し合える関係づくりの土壌を耕しておくことで、持続的な地域コミュニティの基盤を形成することが求められる。
- ・社会教育の拠点として社会教育施設の機能強化や、社会教育主事・社会教育士等の社会教育人材の養成及び活躍促進等を通じた社会教育の充実を図る必要。

○第4期ひょうご教育創造プラン(令和6年3月)

- 基本方針1: 予測困難な時代を生き抜く力を育む教育の推進 (9) 人生100年を通じた学びの推進
- ①生涯学習・社会教育の振興 ②社会教育施設の充実

2 本市を取り巻く現状と課題

○第5次三田市総合計画(令和4年4月)

基本計画8: いつまでも学び、活躍できるまちづくり

【10年後に心配される状況】

- A) 生涯学習施設の老朽化が進み、市民の学びを支える機能が失われていること。
- B) ライフステージに応じた学びやその成果をいかす機会がなく、市民の活力がそがれていること。
また市民の学びの成果がまちづくりにいかされていないこと。

○第3期三田市教育振興基本計画(さんだっ子かがやき教育プラン) (令和4年4月)

【現状と課題】

- ・本市では、様々な「学び」の機会提供が行われていますが、培ってきた学習の成果を活かす機会が限られています。
- ・すべての人が生涯を通して活躍できるよう、さらに学習機会の充実を図るとともに、参加型学習や学び合いを通じて、地域人材の育成に取り組み、循環型の生涯学習社会の実現をめざす必要があります。

【主な取組】

- ・子どもの育ちを支える社会教育施設等の活用
- ・子どもの読書活動や調べ学習を支援できる人材育成の推進
- ・三田の自然を学び、活用するジュニアスタッフの育成

3 協議テーマ(案)

『生涯学習施設を拠点とした人づくり・つながりづくり・地域づくりについて』

趣旨：三田市の生涯学習施設は、地域住民の生涯にわたる学習や交流の機会を提供している。現状の取り組みをさらに良くしていくために、社会教育人材（学識者や実務者）の立場から、生涯学習施設が拠点となって、地域の方々のつながりづくりや人づくりの場となるような、新たな視点やアイデアをいただく場としたい。

※諮問・答申という形ではないが、生涯学習審議会での意見を今後の事業展開の参考とする。

※また、令和8年度阪神北地区社会教育委員協議会（三田市が幹事市）の研究テーマにつながる内容としたい。